

新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

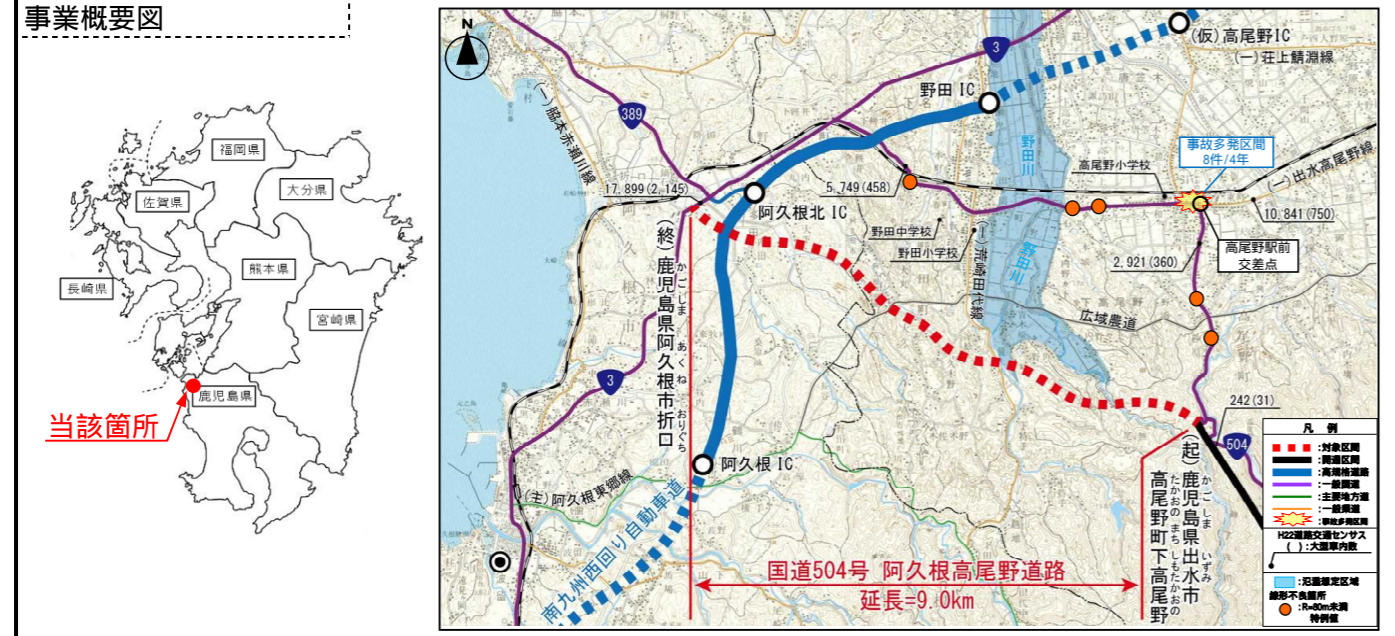
事業の概要

事業名	地域高規格道路 北薩横断道路 一般国道504号 阿久根高尾野道路	事業区分	一般国道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県出水市高尾野町下高尾野 至：鹿児島県阿久根市折口	延長	9.0 km		

事業概要
北薩横断道路は、霧島市からさつま町を經由し、阿久根市に至る延長約70 kmの地域高規格道路である。阿久根高尾野道路は、北薩横断道路の一部を構成する区間であり、南九州西回り自動車道と一体となって広域ネットワークを形成し、地域の産業・経済の活性化に大きく寄与する道路である。

事業の目的、必要性
阿久根高尾野道路は、
・現道の通過交通を排除し、交通事故多発箇所の交通安全性向上
・二級河川野田川の氾濫想定区域における水害時の円滑な避難活動の支援
・南九州西回り自動車道と一体となり、原子力災害・事故に対して円滑な避難活動の支援
・所要時間短縮による輸送コストの削減や、道路の信頼性向上による定時性の確保に資する道路である。

全体事業費 約9.5億円 計画交通量 4,800台/日



関係する地方公共団体等の意見
さつま町など沿線地域4市2町で構成される北薩空港幹線道路整備促進期成会等より北薩横断道路の早期整備を要望されている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
-

事業採択の前提条件
便益が費用を上回っている。
地元自治体や地元団体から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行が可能な環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.3	総費用：77億円 （事業費：72億円 維持管理費：5.4億円）	総便益：102億円 （走行時間短縮便益：73億円 走行費用減少便益：17億円 交通事故減少便益：12億円）	基準年 平成27年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.4 (交通量+10%)	B/C=1.2 (交通量-10%)	
		事業費変動	B/C=1.2 (事業費+10%)	B/C=1.4 (事業費-10%)	
	事業期間変動	B/C=1.2 (事業期間+20%)	B/C=1.4 (事業期間-20%)		

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-
事故対策		-	通過交通の排除や流入交通の分散により、これらの交通に起因する死傷事故が減少。 【死傷事故率】 【安全性の向上（事故の減少）】 ・並行現道区間：134.7件/億台km（現況） 県内国道平均死傷事故率 55.5件/億台kmの約2.4倍
歩行空間		-	注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活	-	南九州西回り自動車道と一体となり第二次救急医療施設（出水総合医療センター、出水郡医師会広域医療センター）への搬送時間の短縮に寄与する。
	地域経済	-	鹿児島空港へのアクセスの向上により、水産物や畜産物の物流の効率化が期待される。
	災害	-	氾濫想定区域を回避し、第一次緊急輸送道路の機能を強化。 南九州西回り自動車道と一体となり、原子力災害・事故に対して円滑な避難活動を支援。
	環境	-	注目すべき影響はない。
	地域社会	-	北薩地域の交流・連携の促進への寄与が期待される。
事業実施環境			・『かごしま未来ビジョン』において、重点的に推進する事業として位置づけ有り。 ・さつま町など沿線地域4市2町で構成される北薩空港幹線道路整備促進期成会等より北薩横断道路の早期整備を要望されている。

採択の理由

事業主体である鹿児島県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.3と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、交通事故の削減、緊急輸送道路の機能強化、物流効率化向上が図られるなど、当該事業の整備の必要性、効果は高いものと判断される。
以上により、本事業は平成28年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。